

いわてガストロノミー会議
公式ロゴマークのご紹介



いわてガストロノミー会議

Iwate Gastronomy Conference 2022

制作コンセプト

CONCEPT

いわてガストロノミー会議を通じて、県内外の人々が岩手の食の魅力を探り、共有し、その歴史を紡いでいくために、岩手という郷土が培ってきた食文化からインスパイアされたビジュアルづくりを行いました。

デザイン

DESIGN

いわての郷土食に寄り添った漆文化と鉄文化をデザインに落とし込みました。漆器の色や質感、南部鉄器のアラレ模様から、岩手の伝統的な食卓がイメージできるようにしています。

また、岩手県の特徴である厳しくも豊かな大自然も表現しています。器の中に、岩手山をはじめとする雄大な山々のシルエット、そして三陸の恵みの海を表す波模様をあしらいました。自然環境や文化的要素と「食」が調和するガストロノミーの考え方を、岩手から体現し、新たな歴史を紡いでいくという想いが込められています。

制作者

DESIGNER

橋本 太郎 1983年生まれ 神奈川県横浜市出身。盛岡市在住。

大学で油画を専攻し美術を学ぶ。2010年、両親が岩手出身ということもあり、創作活動のため空き家になっていた盛岡の祖父母宅に単身移住。東日本大震災を経て、岩手県の芸術文化に貢献したいという思いで、2012年、奥州市の南部鉄器製造メーカーに入社。南部鉄器のデザイン開発やブランディングなどアートディレクション全般に携わる。2021年、岩手県内でより広い地域の風土に寄り添ったデザインサポートをしていくため独立し、個人事業として「山ト海トアート」を開業する。趣味は、登山、釣り、写真。